

まほらっこ教室

まほらっこ教室紹介⑤ まほらっこ中郷教室



まほらっこ中郷教室は、中郷地区交流館で活動しています。登録児童は現在63名です。地域の方々の協力により、元気に楽しく活動しています。

●活動内容

交流館の中では、宿題や工作などを行っています。体育館や校庭では、ボール遊びやバドミントン、追いかっこなどをしています。また、土手を利用してダンボールでのそり滑りを行い、自然とも親しんでいます。

子どもたちは友達同士だけではなく、異なる学年や地域の方と一緒に、楽しく活動しています。

- ▼実施日 月曜日から木曜日
- ▼時間 放課後
午後3時45分
- ▼場所 中郷地区交流館



宿題をしているようす

★参加している児童から
まほらっこ中郷教室

1年 宗像剛琉くん

ぼくは、まほらっこでいっぱいあそびました。まほらっこでは、たいいくかんであそんだり、おべんきょうをします。1ねん生から6ねん生までみんなであそべてうれいします。

★安全管理員から

まほらっこ中郷教室では、子どもたちが「自由に楽しく」遊べるように見守っています。いと考えて活動しています。

宿題をする子、工作をする子、将棋や五目ならべ、オセロをする子。また、まっすぐ体育館へかけていく子。それぞれが「今日のまほらっこ、楽しかった。」と、思ってもらえるよう支援しています。みなさんもいきいきとした子どもたちの姿を見にいらしてください。



体育館でのボール遊び

申込・問 三春交流館

☎62-3837



田高フットボール祭

☆映画『アブラカサスの祭』クラウンイン

●五十嵐智美さん(3年)

玄侑宗久さん原作の同名の小説が映画化されることになり、県内では三春町や国見町が撮影場所として選ばれました。田村高校も撮影場所選ばれ、11月12日のクラウンインの日に撮影が行われました。前日夜遅くまでの準備、当日早朝からの準備のあと、インフルエンザの流行のために参加者が予定より減りましたが、午後から生徒も協力しての撮影が始まりました。演劇部の生徒など、当日朝まで演技指導を受けた生徒や、映画でも先生役として撮影に協力した先生もいました。

★「演劇部『僕たちの祭典』東北大会出場」

11月13日から3日間開催された第63回県高校演劇コンクールにおいて、本校演劇部が第二位に相当する優秀賞1席に入賞し、12月16日から青森県弘前市で開催された東北地区演劇発表会に出演しました。東北大会への出場は、平成2年以来3回目になります。出場にける意気込みを、松崎和樹君(3年)に大会前に伺いました。

●松崎和樹君(3年)

私は、東北大会出場が決まった瞬間、とても驚きました。恐らく部員みんなが喜ぶより先に驚いたのではないのでしょうか。

しかし、東北大会に出場できることを、とても嬉しく思います。なぜなら、今回の上演作品は美術部の部室が舞台で、セットにとても苦労しました。美術部の協力もあって、大会に参加した学校の中でも一番大がかりなセットになり、いいものが作れたのではないかと思います。また、キャストやスタッフをやるのが初めての人もいましたが、一所懸命頑張ってくれました。東北大会出場に向けて一層頑張っています。演劇をやりたいと思います。演劇をやっているとよく耳にする言葉があります。「演劇に完璧はない。」という言葉です。同じ内容の芝居を何度演じても、ひとつとして同じものにはなりません。演劇は演じる度が変わります。そのひとつひとつを精一杯演じることが大切だと思います。そして、本番でも良い劇が出来るように頑張ってきたと思います。」



大会でのワンシーン